

**COMET**

# CA-3200 II

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見

られるところに保管してください。



# はじめに

このたびは、コメットCA-3200Ⅱ電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。  
本機はご好評いただいております、CA-3200電源部の高精度な調光方式を継承し、より進化した機能を搭載しております。

出力コネクターの選択により均等出力や3:1の出力比を自動選択できます。

更に容量調光方式の2回路調光を採用し、スイッチの選択で出力をFULLから1/8と1/4から1/32までを1/10EVステップで調光できます。

銀塩撮影やデジタル撮影にも、あらゆる撮影のシチュエーションにマッチできる電源部です。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえ、ご活用ください。

## 付属品

●ACコード	3.5m	1本
●CRシンクロコード	5m	1本
●ヒューズ	20A	2本
（把手内部に格納）	15A	2本
	10A	2本
●取扱説明書		1
●保証書		1

## 目次

1.安全のため特にご注意ください	1～4
2.使用上のご注意とお願い	5
3.各部の名称とはたらき	6～7
4.操作手順	8～11
5.出力セレクターと出力モード	12～13
6.各灯スイッチ	14
7.出力バリエーター	15
8.モデリングランプモード	15
9.充電モード	16
10.サウンドモード	17
11.フォトセル	17
12.不発光警報	18
13.過熱警報	18
14.ヒューズ交換	19
15.保証とアフターサービス	20
16.仕様	21

# 1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 絵表示の意味



△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘ 記号は、禁止行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



● 記号は、具体的な指示内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

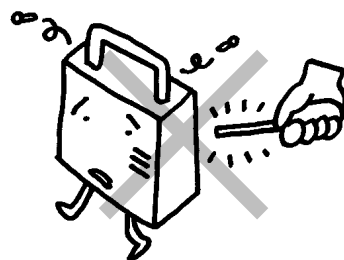


## 警告



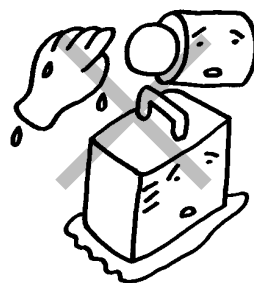
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切っても、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



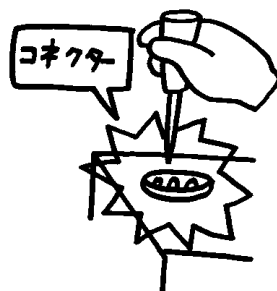
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



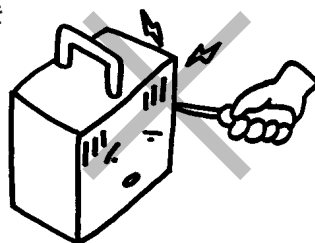
- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



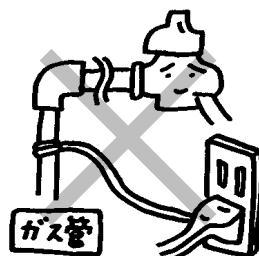
- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがつかないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管が高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



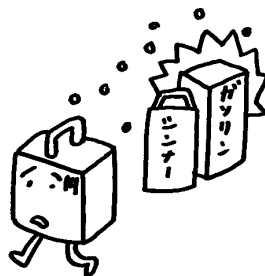
- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



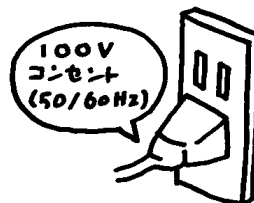
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧は、AC100V (50/60HZ) です

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングスイッチを切ってください。

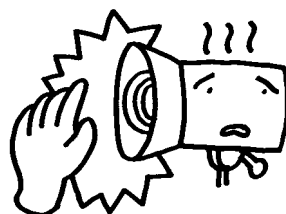
急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



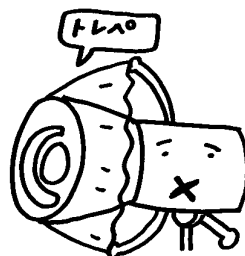
## 注 意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。  
火傷の恐れがあります。



- ヘッドは使用中、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。  
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



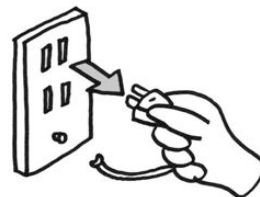
- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。  
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。  
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。

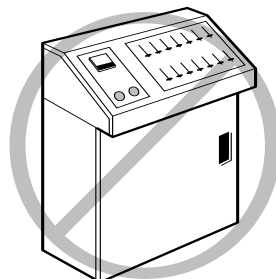


## 2 使用上のご注意とお願い

- 本機の定格入力電圧はAC100V±10%(50/60Hz)です。

定格電圧以外での使用は故障の原因となります。

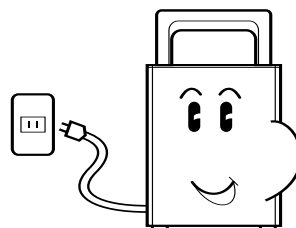
- 調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。



- 本機の適合ヘッドはCAX-32ヘッドです。その他のCXタイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格(ストロボおよびモデリングランプ定格)にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけでなく大変危険です。

- 本機でCX-12バイチューブヘッド、レクト-126ヘッドをご使用になるときは、いずれも1灯のみにしてください。多灯使用は電源部を壊す恐れがあります。

- 使用されないときでも1カ月に1～2回は通電することをお勧めします。3カ月以上使用しなかったときは、最低4時間通電だけを行い、その後ご使用ください。



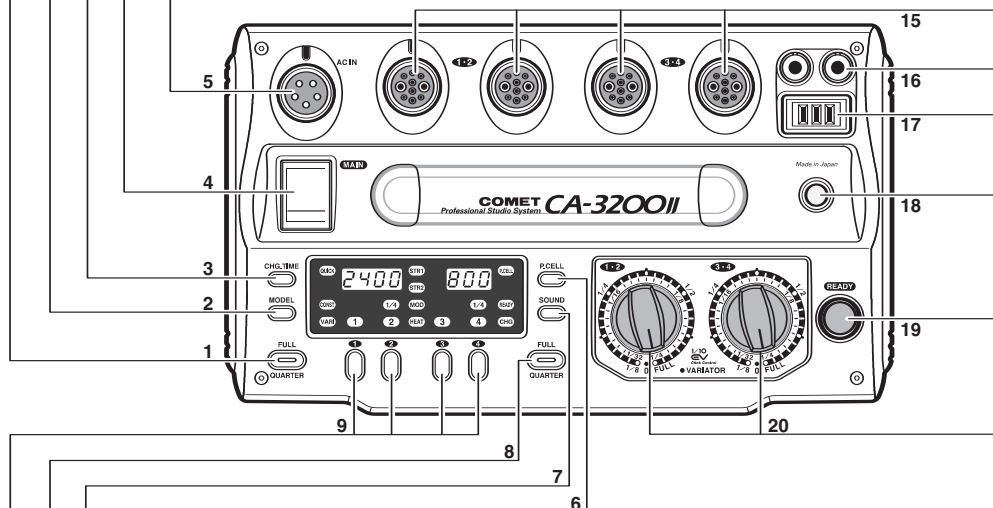
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

- 赤外シンクロ装置(当社製)を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

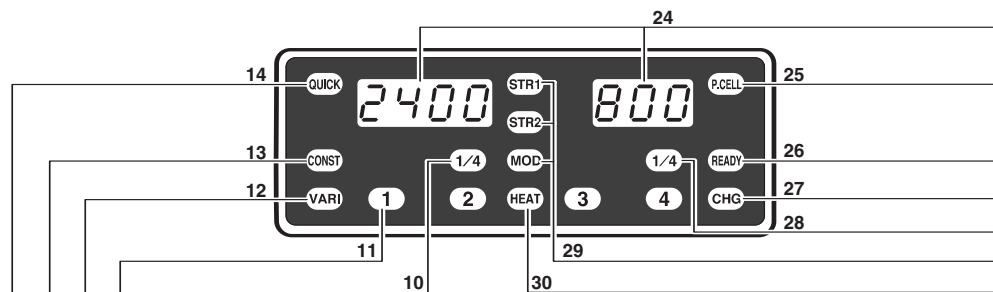
赤外シンクロ受信器を使用している場合でもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出る場合があります。

### 3 各部の名称とはたらき

1	出力セレクター (1・2) (FULL / QUARTER)	コネクターの選択で設定された最大出力を「FULL出力」または、「1/4出力」を選択します。	11・12
2	モデリングランプ モードスイッチ (MODEL)	モデリングランプを「100%点灯 (CONST)」「調光 (VARI)」または「OFF」にします。	10・15
3	充電モードスイッチ (CHG.TIME)	AC電源容量に合った、充電時間を選択します。	10・16
4	メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にしてください。	9
5	ACコネクター (AC IN)	付属のACコードで電源部とコンセントを接続します。	8



6	フォトセルスイッチ (P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「P.CELL」にします。	17
7	サウンドモードスイッチ (SOUND)	「充電完了音 (READY)」 「充電中音 (CHG)」または「OFF」を選択します。	10・17
8	出力セレクター (3・4) (FULL / QUARTER)	コネクターの選択で設定された最大出力を「FULL出力」または、「1/4出力」を選択します。	11・12
9	各灯スイッチ (1 2 3 4)	該当するコネクターに接続されているヘッドを「ON」「OFF」にします。	9・14



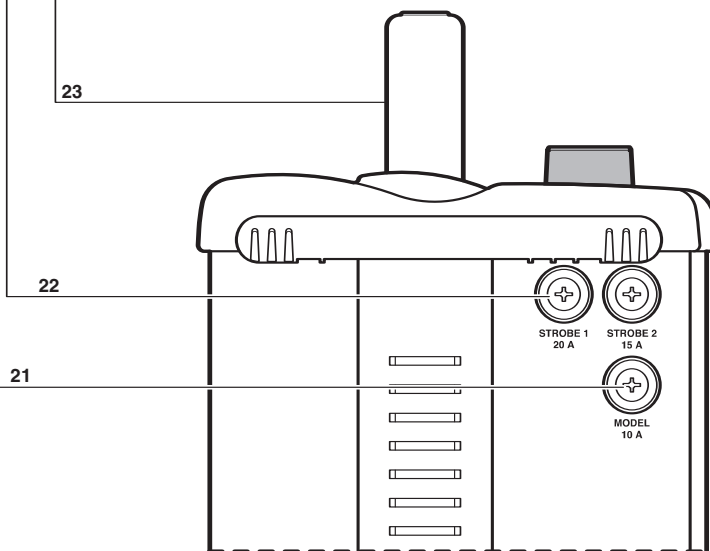
10	出力1/4表示 (1・2)	出力セレクターで「クォーター (QUARTER)」を選択すると点灯します。	11・12
11	各灯表示 (1 2 3 4)	各灯スイッチが「ON」のとき、点灯します。不発光が生じたとき、該当する表示が点滅します。	9・14
12	バリエーション表示 (VARI)	「モデリングランプモードスイッチ (MODEL)」でストロボ出力運動調光を選択すると点灯します。	10・15
13	コンスタント表示 (CONST)	「モデリングランプモードスイッチ (MODEL)」で100%点灯を選択すると点灯します。	10・15
14	クイック充電表示 (QUICK)	「充電モードスイッチ (CHG.TIME)」でクイック充電を選択すると点灯します。	10・16



### 3 各部名称とはたらき

15	出力コネクタ (1・2 3・4)	ヘッドを接続します。 着脱時は「メインスイッチ (MAIN)」を「OFF」にしてください。	8
16	シンクロソケット (CRタイプ)	付属のCRシンクロコード (ホーンジャックタイプ) でカメラと接続します。	11・17
17	シンクロソケット (CXタイプ)	CXタイプ シンクロコードでカメラと接続します。	11・17
18	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるときの受光部です。	17
19	レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。 点灯している部分を軽く押すと発光します。	11
20	出力バリエーター (VARIATOR 1・2 3・4)	各出力を「FULLから1/8」または「1/4から1/32」まで 1/10EVステップで調光します。	15

21	モデリングランプ ヒューズ (MODEL)	モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	19
22	ストロボ ヒューズ (STROBE 1・2)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	19
23	把手	把手上部のカバーを外すと、スペアーヒューズが入っています。	

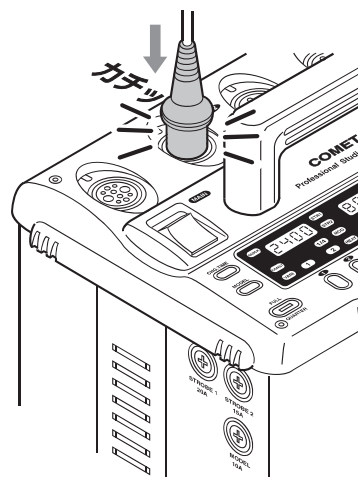


24	出力表示 (1・2 3・4)	「出力バリエーター (VARIATOR)」で設定された、 出力値をワット数表示します。	12・13
25	フォトセル表示 (P.CELL)	フォトセルスイッチ (P.CELL) を「ON」のとき、点灯します。	17
26	充電完了サウンド表示 (READY)	「サウンドモードスイッチ (SOUND)」で 充電完了音を選択すると点灯します。	10・17
27	充電中サウンド表示 (CHG)	「サウンドモードスイッチ (SOUND)」で 充電中音を選択すると点灯します。	10・17
28	出力1/4表示 (3・4)	出力セレクターで「クォーター (QUARTER)」を 選択すると点灯します。	11・12
29	ヒューズ切れ表示 (STR1.STR2.MOD)	ストロボおよびモデリング回路のヒューズが切れると、 該当する表示が点滅します。	19
30	過熱警報表示 (HEAT)	過熱警報時、点滅します。	18

## 4 操作手順

### 1 ヘッドコードを電源部に接続します

ヘッドコードを電源部の出力モードに合わせて、出力コネクタに接続します。コネクタは“カチッ”と音がするまで、十分に差し込んでください。



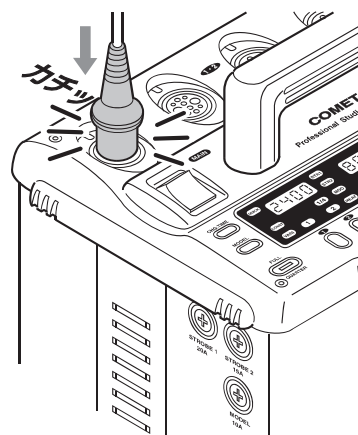
#### 【ご注意】

●コネクタは確実に差し込んでください。

差し込みが不完全な場合、発光時の大電流によりコネクタが損傷し、発火の恐れがあります。また、コネクタを着脱するときはメインスイッチ(MAIN)を必ず「OFF」にしてください。

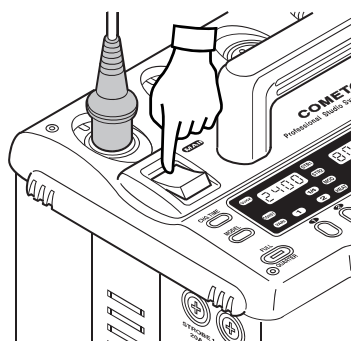
### 2 ACコードを電源部に接続します

電源部のメインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクタへ十分に差し込みます。そのあとACコードをコンセントに差し込みます。



### 3 メインスイッチを「ON」にします

電源部のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。  
表示ランプが点灯し、充電が始まります。

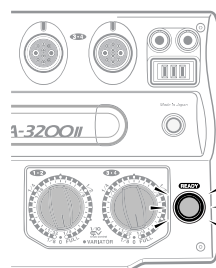


#### 【ご注意】

●出力バリエーターが「0」の位置になっていると、該当する出力表示は出ません。

### 4 充電の完了

充電が完了すると、レディーランプ (READY) が点灯し、発光の準備が完了します。

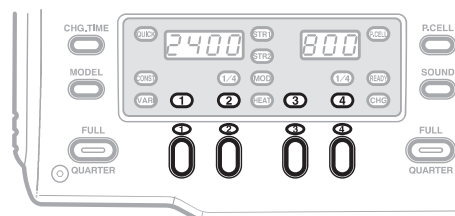


#### 【ご注意】

●発光の準備は完了しますが、各種モードの設定は前回設定していたモードになっています。  
改めて、必要なモードを設定してください。

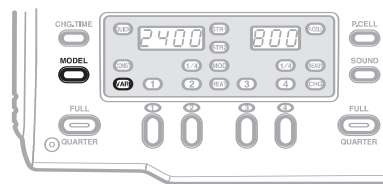
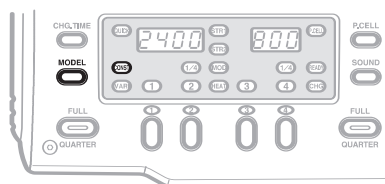
### 5 各灯スイッチを「ON」にします

接続している出力コネクタの各灯スイッチを「ON」にします。  
→詳細は14ページをご参照ください。



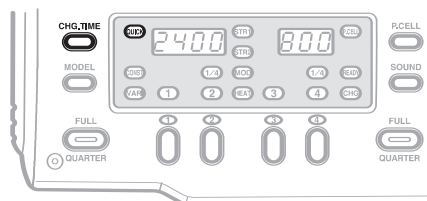
## 6 モデリングランプモードを選択します

モデリングランプモードスイッチ(MODEL)で、「100%点灯(CONST)」  
「調光(VARI)」または「OFF」を選択します。  
→詳細は15ページをご参照ください。



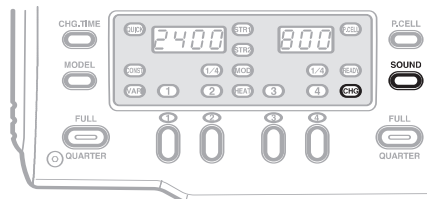
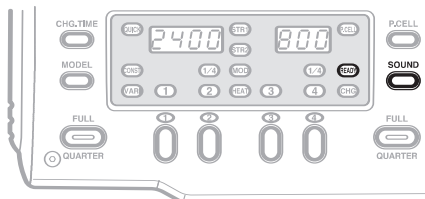
## 7 充電モードを選択します

充電モードスイッチ(CHG.TIME)で充電  
モードを選択します。  
クイック充電の時は、表示ランプ(QUICK)  
が点灯します。  
→詳細は16ページをご参照ください。



## 8 サウンドモードを選択します

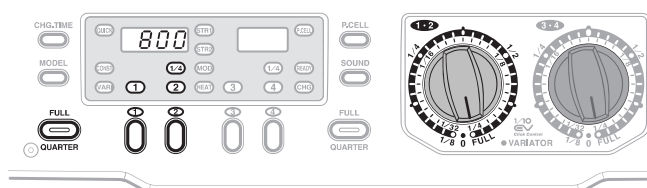
充電の状態を知らせるサウンドが必要なときは、サウンドモードスイッチ  
(SOUND)で、「充電完了音(READY)」 「充電中音(CHG)」または消音を  
選択します。  
→詳細は17ページをご参照ください。



## 9 出力モードを選択します

出力セクター (FULL / QUARTER) と出力バリエーター (VARIATOR) とで必要な出力を選択します。  
→詳細は12ページをご参照ください。

- バリエーター 1・2 / 3・4 はストロボ出力をFULLから1/8までを1/10EVステップで調光します。出力セクターで「QUARTER」モードを選択するとFULL出力の1/4から1/32までを1/10EVステップで調光します。



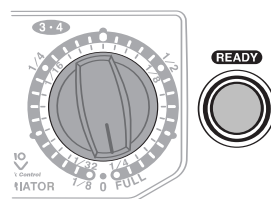
※図の出力設定は出力コネクター 1・2 を使用し、出力モードの「QUARTER」を選択しています。

### 【ご注意】

バリエーターが0の位置のときは、発光操作を行ってもストロボは発光しません。

## 10 テスト発光をします

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。



## 11 カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に、実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ (同調) テストをされることをお奨めします。

### 【ご注意】

フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用するときは、シャッター速度を1/60～1/30秒で使用してください。

## 5 出力セレクトターと出力モード

出力モードは、ヘッドの灯数と使用する出力コネクターおよび出力セレクトター (FULL/QUARTER) で選択します。

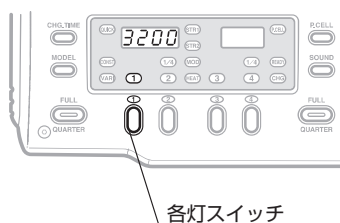
最大出力の出力配分は3200Ws・2400Ws+800Ws・800Wsの3モードが選択できます。出力セレクトター (FULL/QUARTER) で「QUARTER」を選択すると、最大出力が1/4の出力となります。

### ■出力セレクトターが (FULL) のときの最大出力

●出力コネクター①または②を使用のとき

●出力コネクター①または②と③または④を使用のとき

●出力コネクター③または④を使用のとき

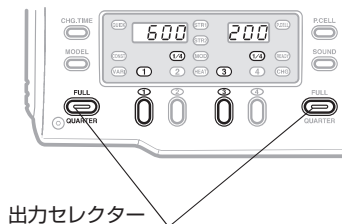


### ■出力セレクトターが (QUARTER) のときの最大出力

●出力コネクター①または②を使用のとき

●出力コネクター①または②と③または④を使用のとき

●出力コネクター③または④を使用のとき



**■出力セクターが(FULL)のときの最大出力表**

出力ブロック	①②均等出力		③④均等出力	
出力コネクタ	①	②	③	④
1 灯	3200	—	—	—
	—	3200	—	—
	—	—	800	—
	—	—	—	800
2 灯	2400	—	800	—
	—	2400	—	800
	1600	1600	—	—
	—	—	400	400
3 灯	2400	—	400	400
	—	2400	400	400
	1200	1200	800	—
	1200	1200	—	800
4 灯	1200	1200	400	400

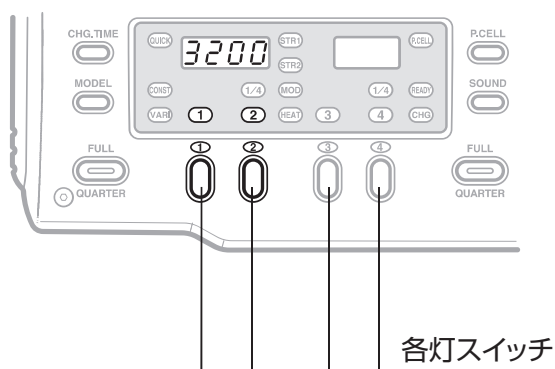
**■出力セクターが(QUARTER)のときの最大出力表**

出力ブロック	①②均等出力		③④均等出力	
出力コネクタ	①	②	③	④
1 灯	800	—	—	—
	—	800	—	—
	—	—	200	—
	—	—	—	200
2 灯	600	—	200	—
	—	600	—	200
	400	400	—	—
	—	—	100	100
3 灯	600	—	100	100
	—	600	100	100
	300	300	200	—
	300	300	—	200
4 灯	300	300	100	100

## 6 各灯スイッチ

各灯スイッチは接続されているヘッドのストロボとモデリングランプを「ON」「OFF」にします。

■出力コネクター①②ブロックまたは③④ブロックにヘッドが2灯接続されている状態での出力表示は2灯の合計出力を表示します。



- 出力コネクター①②にヘッドを接続して、各灯スイッチ①②を「ON」している状態の出力表示。1600Ws 2灯が発光します。



- 出力コネクター①②にヘッドを接続して、各灯スイッチ②を「OFF」している状態の出力表示。①のヘッドは3200Wsで発光します。

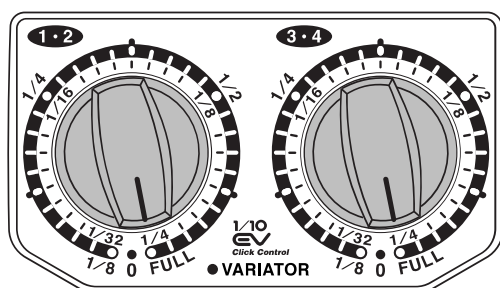


## 7 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、ヘッドの灯数と使用する出力コネクターおよび出力セクター (FULL/QUARTER) で選択された出力を 1/10EV ステップで調光します。

出力セクター (FULL/QUARTER) で「FULL」を選択すると、FULL～1/8まで、「QUARTER」を選択すると、1/4～1/32までを調光します。

### ■ バリエーター 1・2 3・4



#### 【ご注意】

バリエーターが0の位置のとき、モデリングランプは点灯していますが、ストロボは発光しません。発光操作をすると、不発光警報が出ます。

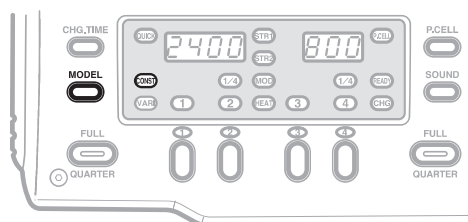
●出力セクター (FULL/QUARTER) で「FULL」を選択のときは、外側のダイヤル目盛りの FULL～1/8 を読んでください。

●出力セクター (FULL/QUARTER) で「QUARTER」を選択のときは、内側のダイヤル目盛りの 1/4～1/32 を読んでください。

## 8 モデリングランプモード

モデリングランプはモデリングランプモードスイッチ (MODEL) を軽く押すと、100% で点灯する (CONST) と、ストロボ出力に連動して明るさが変わる調光 (VARI) モードおよび全てのモデリングランプを「OFF」にすることができます。

### ■ CONSTモード



### ■ VARIモード

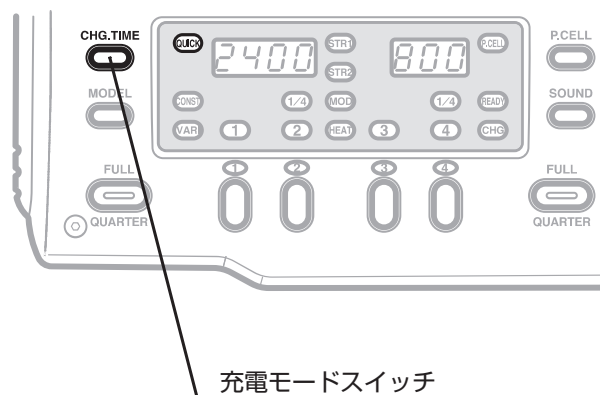


●調光 (VARI) モードのとき、モデリングランプは出力バリエーター 1/16 まで調光されます。それ以下は 1/16 の明るさで一定となります。

## 9 充電モード

使用状況や電力事情によって、ブレーカー容量が足りないときは、充電モードスイッチ (CHG.TIME) でスロー充電モードを選択して使用することができます。

●左図はクイック充電の状態です。  
(QUICK)の表示が消えていると  
スロー充電モードになります。



### 充電時間とブレーカー容量

充電 時間(秒)	50Hz/60Hz	ブレーカー容量
クイック	3.6/3.0	20A
スロー	10/8.0	15A

## 10 サウンドモード

サウンドモードスイッチ(SOUND)を押すと、充電の状態を知らせるブザー音のモード選択ができます。

### ■READY表示のとき

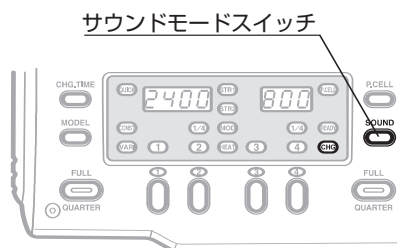
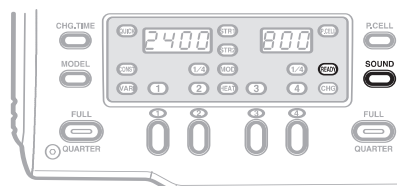
充電が完了すると、ブザーで知らせます。

### ■CHG表示のとき

充電中、ブザーの断続音で知らせます。

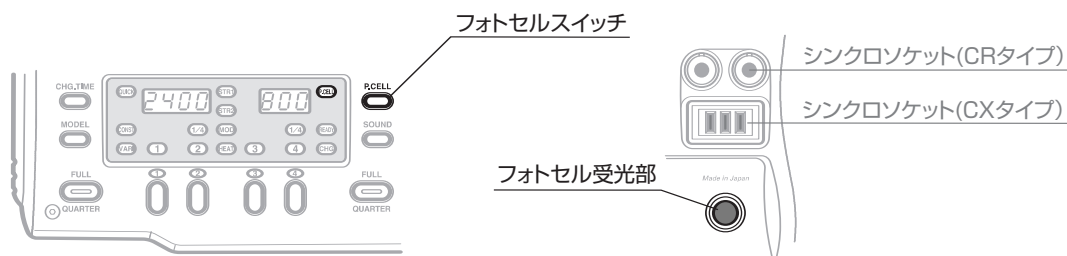
### ■表示のないときは、消音モードです。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



## 11 フォトセル

他のストロボに同調発光したいとき、フォトセルスイッチで「ON」にします。



### 【ご注意】

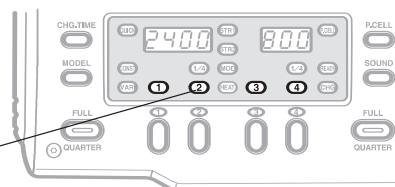
- 赤外線シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光があたると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にして、ご使用ください。

## 12 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、該当するコネクタの各灯表示が点滅して、不発光を知らせます。

充電完了前に発光操作を行ったときも、発光せず警報がでます。

不発光が生じたときは、該当する各灯表示が点滅



### ■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば、解除されます。

また、メインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にすることも解除できます。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

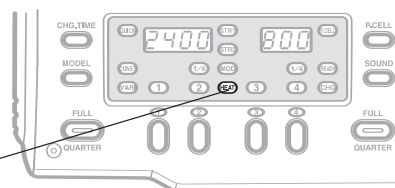
## 12 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報表示(HEAT)が点滅し、ブザーの連続音で知らせます。

警報がでたときは、直ちに使用をお止めください。警報はメインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にすることで解除されます。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

過熱警報表示(HEAT)が点滅



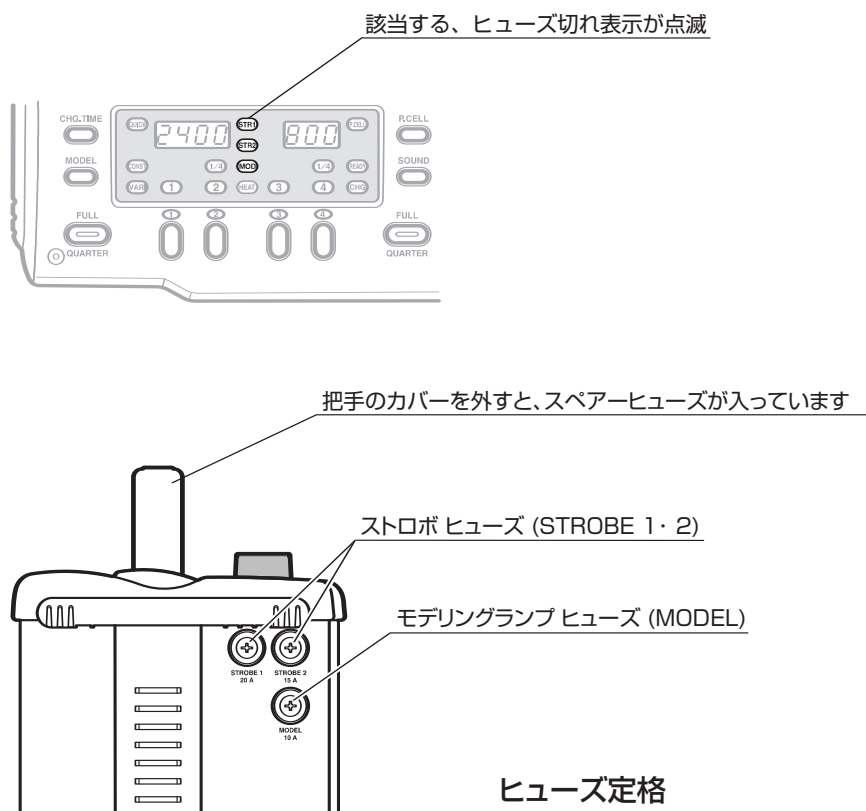
### 【ご注意】

- 冷却を早めるために、メインスイッチ(MAIN)を「ON」にして、発光操作をせずに、風通しの良いところに置いて放熱してください。
- 電源内部の温度が所定の温度以下になると使用できる状態に戻りますが、完全に温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。

## 14 ヒューズ交換

何らかの原因で、ヒューズが断線したとき、該当するヒューズ切れ表示(STR1・STR2・MODEL)が点滅し、ブザーの連続音で知らせます。

該当するヒューズホルダーの蓋を⊕ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。断線したヒューズと同じ定格のものと交換してください。



ヒューズ定格

STROBE 1	20A
STROBE 2	15A
MODEL	10A

### 【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて、行ってください。

## 15 保証とアフターサービス

### ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

### ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

### ■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

### ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

### ■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。


# 16仕様

品 名	CA-3200 II 電源部
型 式	CA-3200 II
型式定格／電源容量	AC100V±10% 50/60Hz
ヒューズ定格	ストロボ① 20A モデリング 10A ストロボ② 15A
充電モード (秒)50Hz/60Hz	Q:3.6 S:10 / Q:3.0 S:8.0
最大出力 (Ws)	3200
ストロボ調光方式	1回路／2回路コンデンサー調光
出力灯数	4
出力配分 (Ws)	3200／2400:800 (出力コネクター自動検知切換)
出力切換 (Ws)	出力セレクターでFULLまたはQUARTERを選択 3200↔800／2400:800↔600:200
ストロボ調光範囲	FULLレンジの時 FULL～1/8 (3EV) 1/10 ステップ QUARTERレンジの時 1/4～1/32 (3EV) 1/10 ステップ
出力表示	デジタル表示 (2系統)
モデリング定格	250W 4灯
モデリング調光モード	ストロボ出力連動調光／100%点灯／OFF
各灯スイッチ	ストロボとモデリングランプをON／OFF
シンクロソケット	CRタイプ×2 ・CXタイプ (3PBF)×1
フォトセル	内蔵 (スイッチ)
充電サウンドモード	充電中音／充電完了音／OFF
不発光警報	核当する各灯表示点滅とブザーによる連続音 ※充電完了前に発光操作をすると警報が出ます
過熱警報	過熱警報表示点滅とブザーによる連続音
ヒューズ切れ警報	核当するヒューズの表示が点滅
クーリングファン	内蔵
寸 法 (mm)	313 (w)×322 (h)×183 (d) ※把手含まず
重 量 (kg)	12.7

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
尚、この仕様は2003年1月現在のものです。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

<p>愛情点検</p> 	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li> <li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li> <li>●ヒューズがすぐ切れる</li> <li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる</li> <li>●その他の異常や故障があるとき</li> </ul>	<p>このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。</p>
---	---	---

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

## アフターサービスについてのご相談は

# COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621 FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488 FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667 FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075 FAX.(082)293-0076
高松営業所	〒761-8032 高松市鶴町1035-7	TEL.(087)881-9344 FAX.(087)881-9342
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254 FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623 FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622 FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3234-5081 FAX.(03)3234-1356